青森西高等学校　　安村　和将

まず、この研修会に参加するにあたって商工会議所の皆さんをはじめ北山さん、通訳の小林さん博多さん、学校の先生方、家族、たくさんの方々にお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

私は第１回の事前研修会に参加できなかったため資料による学習となりました。今思えばメンバーにもっとどうだったのかをしっかり聞いていればよかったと少し後悔しいています。紙の上の情報だけではどうしても理解しきれない部分が多々ありました。第２回の研修会でメンバーと初めての顔合わせとなりましたが、本当にこのメンバーでよかったと心から思いました。また、アドバイザーの先輩方にも本当に感謝しています。課題であった３つのプレゼンテーションをより良いものにするための的確なアドバイスとご指導ありがとうございました。おかげで始めとは比べものにならないほど、良いプレゼンテーションをつくることが出来ました。

２週間という期間は長いようでとても短いものでした。まず、フランスですが、ランス潮力発電所は潮力によって発電するという青森にはない方法でとても感動しました。干満の差を最大限に利用する仕組みなどの基礎知識はもちろんですが、私はタービンの仕組み、そして施されている工夫について学んだ時が１番楽しかったです。次にラ・アーグ再生処理工場です。ここでは施設内を１日かけて見学しました。ここで私たちは実際の作業着に着替えて施設のより詳しいところまで見学したのですが、驚いたことにここでは靴下まで工場のものに変えました。アレバ社が安全性の高さで多くの人々に信頼されているのは、こういった細かいところまで徹底するところにあるのだと感じました。また、どちらでも取り上げられていたのは再生可能エネルギーについてでした。フランスではこの再生可能エネルギーについてとても注目しているようです。さらには原子力でのエネルギー自給率をこれからどのくらいまで減らすのか具体的な数字をあげることで意識がより高まっている様でした。

次にスウェーデンですが、スウェーデンではSKB社のフォルシュマルク中低レベル廃棄物貯蔵所がとても印象に残っています。今までどこの国でもやっていなかったウランの最終処分地を世界で初めて確保したことにも感動したのですが、近隣住民への説明などのサービスは本当に充実しており素晴らしいものです。SKB社では、建設の際に近隣の家１軒１軒に２，３人の職員が訪ね丁寧に説明をしたそうです。また、地域だけではなく隣接する市や県にもきちんと説明をしたそうです。広報官のエリカさんの話

では、説明したいことや話したいことがあるから来て下さい、ではなく、自分が訪ねて説明なり話なりをしなくては絶対に了承は得られないし意味がない、とのことでした。そのため、SKB 社では説明会などが行われるときには送迎のバスが出るほどです。さらに、日頃から今日は施設に誰が訪れこんな内容の話をした、こんなテストを行った、など何かある度にラジオやテレビなどで放送されるため、関係者と地域とでの情報の共有が出来ているそうです。このように、些細な情報も漏らすことなく提供することやサービスの充実によって SKB 社に対する反対意見はほぼ 0 に等しい様で、もし反対意見があるとすればまず先に勉強不足が考えられるとのことでした。次には感情的であるか本当に嫌かでした。勉強不足がまず先に考えられるとのことなので、それほどスウェーデンでは住民の関心が高く、エネルギー事情の勉強をしていることが分かりました。小学校の低学年の時には施設見学があり日本よりもエネルギーに対する教育が充実していると感じました。

最後に、現地の高校生との交流は私をとても成長させてくれました。エネルギーのディスカッションは本当に白熱したものでしたし、現地の高校生とエネルギーに対する考え方や文化の違いを話した時は本当に楽しかったです。今までの私が持っていなかった考え方、さらには視野も広げることができ、人として成長することができてよかったです。この経験をこれからの進路、将来へとつなげていけるように、さらには私の周りの友達にも広げていければいいと思っています。貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。